

平成29年8月14日 11:00～ <市長メッセージ>

京都府南部地域豪雨災害から5年を迎えて

平成24年8月13日・14日に発生した京都府南部地域豪雨災害では、河川の氾濫等により、本市におきまして、2名の尊い人命が失われました。犠牲になられたお二方のご冥福をお祈り申し上げます。

また、家屋の損壊、床上・床下浸水の被害や道路への崩土、ほうど さんぶく山腹の崩壊など、近年にない甚大な被害が発生いたしました。

被災当初より、国や京都府、周辺自治体、及び、各関係機関をはじめ、多くのボランティアの皆様のご支援を受け、この災害からの復旧を、市政の最優先課題と位置付け、鋭意取り組みを進め、平成27年度末で完了したところでございます。

この災害で得た経験を教訓とし、引き続き「安全・安心なまちづくり」をより一層推進するため、全力をあげ、各種施策に取り組んで参る所存でございます。

さらに、この災害を強く心に刻み、決して風化させることなく、しっかりと後世に伝え続けていくことが、私に課せられた責務であると感じているところであり、7月29日には京都大学防災研究所より講師をお招きし、自主防災リーダーをはじめ、多数の市民の皆様のご参加のもと、防災講演会を開催いたしました。

防災・減災には、行政による「公助」だけではなく、市民の皆様による「自助」や「共助」が重要となってまいります。

本市といたしましては、河川改修・耐震強化などのハード対策の推進、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、展開されております自主防災活動の向上に向けたソフト面での取り組みの推進など、安全・安心なまちづくりのため、市民の皆様と協働し、引き続き最善を尽くして参りたいと考えております。

今後とも、市民の皆様並びに関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年8月14日

宇治市長 山本 正